

滋賀で家族になろう推進事業

現状と課題

- 出会いの機会の減少 ⇒ 出会いの機会創出のための仕組みづくりが必要
- 結婚への希望を持っているが、一歩踏み出せない方への後押し ⇒ 市町や企業・団体等の支援情報の一元化した発信 ⇒ ネットワークの拡大による機運醸成 **が必要**

目的

希望する人が結婚できるよう、社会全体で応援！



機運の醸成、市町・企業・団体との協働

ネットワークづくり

しが出会いサポート地域連携推進事業

- オンライン型「しが・めぐりあいサポートセンター『しが結』」の運営
- AI等を活用したマッチングシステムを活用した会員の婚活サポート

- ★結婚を希望する独身の方で概ね50歳までの方を対象に、会員制で運用する。
- ★県内市町や企業に対して結婚支援の取り組み促進を働きかけるため、結婚支援コンシェルジュを配置する。
- ★マッチングシステムを活用した1対1の出会いの機会創出だけでなく、婚活イベントの開催等により様々な出会いの機会の提供を図る。



あいはぐプロジェクト応援団事業

滋賀でもっと家族になろう

●ネットワークづくりの推進

- ★ネットワーク研修会・意見交換会の開催
- ★若者の出会いの場づくりを応援する企業・団体等のネットワークへの参画呼びかけ

●婚活応援情報の発信

- ★あいはぐプロジェクト応援団HPでの「婚活イベント情報」

●結婚を希望する方への後押しとなる情報発信

- ★「結婚支援員等による婚活コラム」等の結婚応援情報発信

結婚に関する調査研究・効果検証事業

- ★結婚への希望を叶えるためにどのような支援が行政に求めているのか、結婚への希望を持たない県民はどのような背景から希望を持っていないのか意識調査や企業へのヒアリング等を実施・把握し、次年度以降の施策に繋げる。